

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

C O N T E N T S

ページ 項目

レポート<<Report>>

- 2 平成30年度 第5回理事会議事録
- 8 第36回広島県医学検査学会を終えて
- 9 第36回広島県医学検査学会レポート
- 10 第36回広島県医学検査学会優秀演題賞をいただいて
- 11 第36回広島県医学検査学会 アンケート調査

ご案内 << Information >>

- 13 2019年度 広島・西部地区レクリエーションのご案内
- 15 「ピンクリボン de カーブ」ボランティア募集
- 16 2019年度生涯教育講座ご案内
- 17 平成30年度 広臨技発行紙への広告・協賛のお礼



<<重要なお知らせがあります!!>>

- ①厚生労働省より風疹の追加的対策についてお知らせがあります。リンク先は https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html ご一読よろしくお祈いします。
- ②【医療機関における検体検査業務の精度確保に関する資料】が日本医師会が運営する事業「医師主導による医療機器の開発・事業化支援」より提示されましたのでお知らせいたします。詳しくは <https://jmamdc.med.or.jp/guidance/kensa> をご覧ください。
- ③医師法施行規則等の一部を改正する省令について
- ④臨床検査技師国家試験に合格した者に関する留意事項(通知)についてお知らせします。③と④は日臨技 Web サイト <http://www.jamt.or.jp/information/tuuchi/> をご覧ください。
- ⑤他団体との連携研修会について(依頼)のお知らせ
詳しくは日臨技 Web サイト <http://www.jamt.or.jp/studysession/jamt/> をご覧ください。
- ⑥【平成31年度で終了】検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講申込みはお早めに！
詳しくは日臨技 Web サイト <http://www.jamt.or.jp/training/movie/> をご覧ください。



広報部連絡・専用E-Mail <koho@hiroringi.or.jp>

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。

モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切りは4月11日です)



平成 30 年度 第 5 回理事会議事録

日時 平成 31 年 2 月 23 日 (土) 10:30~11:50

場所 グランラッセーレ東広島

出席者 森田会長 飯伏副会長 米田副会長 三舛副会長 坂田事務局長 尾田部長
浅野部長 中島部長 有谿部長 難波部長 栗村理事 大塚理事 吉井理事
小松(忠)理事 小松(浩)理事 柴田理事 中宮理事 藤井理事 細谷理事
箕岡理事 桑田理事 水野監事

欠席者 檜山事務局次長 桑原理事 榎本監事

書記 中宮

議 事

〈 報告事項 〉

【 森田会長 】

●平成 31 年度広島県臨床検査技師会の主催事業について

来年度の広島県の技師会の主催事業は前年度同様のものを計画している。「生涯教育推進研修会助成事業」は今まで同様、1 研修会あたり定額 2 万円および日臨技会員である参加者 1 人あたり 500 円 (最高 60 名まで)、合計で最大 5 万円を上限として 20 研修会 (最大 100 万円) まで助成します。来年度も有効に使っていただきたい。「広島県ニューリーダー育成研修会」も生涯教育推進研修会助成事業の対象となるので計画して頂ければと思います。

●平成 31 年度日臨技・都道府県技師会の共同事業について

下記の事業が開催される予定です。

- ・全国「検査と健康展」
- ・日臨技精度管理結果サポート事業 (本事業助成は一旦中止し、平成 31 年度は新たな事業として再構築の予定。詳細については後日お知らせします。)
- ・地域ニューリーダー実践講習会
- ・多職種連携のための能力開発講習会 (仮称)
- ・初級・職能開発講習会 (平成 31 年度も支部ごとに数回の開催予定)

日臨技より総会の委任状回収委託のお願いがありますのでよろしくお願い致します。

●広島県臨床検査技師会創立 70 周年について

2020 年に広島県臨床検査技師会創立 70 周年 (法人化 30 周年) を迎える。詳細は何も決まってないが今後準備等ありますので皆様よろしくお願い致します。

〈 追加報告 森田会長 〉

●精度保障について

日臨技からまだ事業計画の段階ですが、今後は検体検査のみならず生理検査も含めた形で進めていく予定です。

●e-ラーニングについて

参加が少なく、現在 1,400 名程度です。来年度目標は 8,000 名としています。日臨技でも精度管理責任者の受講を推奨しているので、理事の皆様ならびに各施設内でも参加して頂くようお願いして下さい。

●検体採取講習会について

広島県では2019年7月20,21日、12月7,8日の2回 開催予定。

施設内でまだ受講されていない方は必ず受講するよう伝えてください。

【 補足説明（水野監事）】

この講習会は、日臨技が厚労省より委託され5年間の契約での開催となっている。2019年12月で5年が終了する。その後の開催は無い可能性が強いが、開催されても東京・大阪で年1、2回開催されれば良いほうだと思っていただきたい。今年は短期大学の生徒は受講の必要はなく、4年制大学の卒業生のみ対象となる。それ以降の学生はカリキュラムに含まれている。

●地臨技会員と日臨技会員について

日臨技のみの会員が散見されます。日臨技では地臨技の会員を条件に日臨技会員とする案を審議予定としている。今後は日臨技のみの会員はなくなっていくだろうと思われま

【 坂田事務局長 】

●2019年新春祝賀会を1月12日に開催し、参加者は156名でした。皆様ご協力ありがとうございました。

●県学会の抄録を1月25日に発送した。

●定期総会について

平成31年6月15日（土）ホテルサンルートにて開催予定。平成30年度事業報告及び平成31年度事業計画の作成を3月中にお願いします。また各部からの議案を3月31日までにメールにて事務局長（坂田）まで送ってください。

●次回役員会について

4月18日（木）に常務理事会・理事会を同日開催する。

●総会に係る資料、書面表決・委任状の発送について

今年はゴールデンウィークが10連休となる為5月10日あたりを発送予定。会員に届くのは5月13日もしくは14日の予定となります。委任状・書面表決の回収を地区理事の方々よりお願いします。（回収締め切り：5月28日）尚、締め切り以降に届いたものについては受け付けません。また、回収については業者便を使わず、郵送でお願いします。

【 尾田学術部長 】

●第68回日本医学検査学会の座長について

一般演題が多く、広島県に16名の座長の追加依頼（締め切り2/20）があったが、学術部門長、理事の方々に声掛けして頂いた結果、無事16名選出できました。

●学術誌について

昨年末に学術誌の「広島医学検査」を発刊することが出来ました。皆様ご協力ありがとうございました。

【 浅野経理部長 】

●入金報告

・1月31日 日臨技より推進研修会助成金の入金がありました。

2018年12月9日開催の輸血検査研修会に対して3,300円

2018年12月22日開催の第445回呉地区七夕学会に対して50,000円

- ・医学中央雑誌刊行会より昨年の許諾抄録利用料金支払いについて連絡がありました。
広島臨床検査 抄録件数6件×432円=2,592円 支払予定は3月中旬頃。
- ・2月中の新たな新規会員会費収入はありませんでした。

【 中島渉外法規部長 】

●ピンクリボン de カーブについて

5月12日（日）開催予定

2月21日に会議を予定していたが延期となりました。実行委員会では技師会で骨密度、血管機能、血糖検査など検査のイベントをしてほしいとの要望があった。今月の常務理事会で承認を頂いたので、今から計画していく予定です。

●表彰審査委員会について

2月8日に表彰審査委員会を開催しました。4月の理事会で討議していただくのでよろしくお願いします。

●エイズ日曜検査について

3月17日に今年度の事業が終了します。来年度も広島県の委託事業として行っていくので引き続きよろしくお願いします。

【 難波組織調査部長 】

●「広島県ニューリーダー育成研修会」について

2月3日に広島赤十字・原爆病院で開催しました。58名の参加がありました。研修会終了後、アンケートを実施しました。アンケート結果は速報3月号に掲載予定です。

【 有谿広報部長 】

●1月30日に速報2月号と行事予定表がホームページ上にアップされたことを確認した。

速報3月号は、2月8日に原稿を締め切って編集も終わっている。内容は「広島県ニューリーダー育成研修会」のレポートおよびアンケート結果と「精度管理向上研修会」の案内を掲載する予定。

〈 地区報告 〉

【 広島地区：吉井 】

●特になし

【 呉地区：柴田 】

●事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/01/17	第4回呉地区輸血談話会「不規則性抗体検査 v s 交差適合試験～あなたの施設の輸血検査どうしていますか？」	15名
2019/01/25	新年会（意見交換会）	36名
2019/02/08	第4回呉地区血液研修会「リンパ球形態を見極める」「血液疾患 症例検討」	16名

●事業計画

開催日	事業名
2019/02/28	第6回呉地区研修会「検査センターの配送業務について」
2019/02/28	第6回呉地区委員会（今年度の報告、および次年度の計画について）
2019/03/12	第3回呉地区微生物研修会「耐性菌検査について」

【 東部地区：細谷 】

●事業報告

開催日	事業名	参加人数
2019/01/19	第2回東部地区輸血検査研修会	27名
2019/01/24	第5回生涯教育講座（東部地区）	81名
2019/02/02	第3回東部地区血液研修会	45名
2019/02/16	東部地区生理研修会	54名

●事業計画

開催予定日	事業名
2019/03/16	東部地区生理研修会 2018年度日臨技精度管理報告会

【 東広島地区：小松(忠) 】

●事業報告

開催日	事業名	参加人数
2018/2/14	がん関連研修会（肝臓がんについて）	20

【 北部地区：箕岡 】

●特になし

〈 討議事項 〉

【 森田会長 】

●討議事項なし

【 坂田事務局長 】

●討議事項なし

【 尾田学術部長 】

●学術部門長・部門員の交代について

- ・病理・細胞部門長の吉田技師（呉医療センター）が他県へ転勤となった。来年度は永崎技師（広島赤十字・原爆病院）に交代する。→ 承認
- ・生理検査部門員の谷本技師（県立広島病院）が産休に入ります。来年度は中本技師（県立広島病院）に交代する。→ 承認

●学術編集委員について

学術編集委員は現在 10 名で活動しており、来年度任期により半数の 5 名が交代となりますが、編集業務の引継ぎのため今年度に限り 3～5 名の増員を承認していただきたい。

(細則の変更が必要だが、すでに変更されているかもしれないので確認を行う)

→ 承認

【 中島渉外法規部長 】

●討議事項なし

【 難波組織調査部長 】

●討議事項なし

【 有谿広報部長 】

●討議事項ではないですが、速報 PDF 版がホームページにアップされたら、広臨技 ML でお知らせします。

【 広島地区：吉井 】

●討議事項なし

【 呉地区：柴田 】

●討議事項なし

【 東部地区：細谷 】

●討議事項なし

【 北部地区：箕岡 】

●討議事項なし

【 飯伏副会長 】

●生涯教育委員の交代について

吉藤技師（福山市医師会検査センター）から和田技師（福山市医師会検査センター）に交代。→ 承認

【 東広島地区：小松(忠) 】

●県学会について

- ・この後の昼食は控室「竹」でお願いします。
- ・14：00 開始の「集まれ広臨技」と 15：30 開始のシンポジウムの会場は 2 皆の「ペイサージュ」です。
- ・シンポジウム終了 30 分後の 18：00 より会場「平安」にて懇親会を行います。
- ・懇親会終了 15 分後に西条駅経由でホテルまでバスを出します。
- ・2 日目は各自で学会場までお願いします。(有料循環バス or タクシー)
- ・グランラサーレに一晚駐車される場合は自己管理でお願いします。
- ・ホテル代と駐車料金は事前に支払い済。

- ・2日目の一般演題、市民公開講座①、②の会場は「平安」、ランチョンセミナー①の会場は「平安」、ランチョンセミナー②の会場は「ペイサージュ」となります。
- ・学会終了後の送迎バスは閉会式終了15分後に出発します。
- ・常務理事・理事は空色のネームプレートになります。
- ・集まれ広臨技と学会はそれぞれ受付をして下さい。
- ・2日目は一般市民の方も来られるので、車の駐車は奥より詰めてお願いします。
- ・懇親会に次期参院選候補の小川氏が出席されます。あいさつをされるということなので皆様よろしくお願ひします。

【 浅野経理部長 】

●平成31年度予算（案）について

浅野経理部長より資料を基に一通りの説明あり。

浅野経理部長より2020年の広臨技70周年記念式典の予算（約300万円）をどこから捻出すればよいか？

下記2案の提案あり。

① 事務所維持特定預金取得支出分の100万円を記念式典の予算にまわす。

② 記念式典予算として200万円計上し、赤字予算とする。

→ 賛成多数により①案と②案を合わせた案に決定→ 会計士と相談し、予算（案）の修正を行う。

【 東広島地区：小松(忠) 】

●広島県臨床検査技師会の公益法人化について、今後の予定を教えてください。

【 森田会長 】

出来ないことはないと思うが、もう少し公益事業の決算額を増やさないといけない。

どこまでを公益事業に入れるかにもよる。学術事業費を公益事業費に入れてもよいのであれば可能と思われる。

【 水野監事 】

今年度は豪雨災害が発生し、公益法人化に向けての時間が取れなかった経緯がある。公益事業が50%を超える必要があるが、県に届けている公益事業の文章を変えない限り出来ない。会計上、学術事業費を公益事業費に移せばよいという簡単な話ではない。現在の学術研修会等は会員向けであるが、誰でも参加できるように一般化する必要がある、そういった仕組みを作らないといけない。平成31年度はこのような仕組み作りを議論して予算案を作成しないといけない。2年間程度は移行の準備が必要と思われる。

【 東部地区 細谷理事 】

●1月19日の東部地区輸血検査研修会を開催したが、研修会予定表は呉地区研修会になっていた為、見落としでしまい、講師料の支払いが遅れてしまった。

→ 予定表については、理事の見間違いであった。また、研修会の事業計画書を理事が確認しないまま提出されている現状に問題があり、今後、事業計画書は理事の確認後提出するよう変更する。

【 呉地区 柴田理事 】

- 4月9日に子宮の日のイベント（子宮頸がん検診推進活動）を毎年開催している。全国的なイベントで広島県では広島地区、福山地区、呉地区で10年くらい行っている。元々は細胞検査士会が中心に活動していたが、最近では細胞検査士以外の技師も参加して頂いている。この活動に対し、技師会として基礎点をつけていただくことは可能でしょうか。

【 森田会長 】

細胞検査士会から正式に共催の依頼があれば基礎点の付与は可能である。現在、そういった正式の依頼はないので基礎点は付与されない。基礎点の付与には正式な手続きが必要になります。

【 森田会長・米田副会長 】

技師連盟の加盟がまだ少ない状況です。少なくともここにいる役員の施設では、ぜひ技師連盟の必要性を説明していただきみなさん納得したうえで加盟して頂きたい。よろしくお願いします。

以上

第36回広島県医学検査学会を終えて



2019年2月23日、24日に、森田益子学会長のものと第36回広島県医学検査学会がグランラッセ東広島にて開催されました。両日とも天候に恵まれ、たくさんの方に参加いただきました。昨年7月6日夜、これまでに経験したことのない大雨が降り、広島県、岡山県、鳥取県では大雨特別警報が発表されました。東広島市でも河川の氾濫や土砂崩れなど起こり、たくさんの被害がありました。その少し後に最初の県学会企画会議を開いたのですが、そこでの皆の意見は一致しており、この未曾有の災害を経験し、その活動をテーマに動き始め、今回の県学会のテーマを『災害に強い医療を目指して ～がんばるけん広島県～』として進めてまいりました。

初日のシンポジウムでは、広島 JRAT、日赤救護班、看護師、そして臨床検査技師と様々な職域の先生方にシンポジストとしてお願いし、それぞれの立場から災害活動についてお話いただきました。会場フロアからのご意見、ご質問など、非常に熱気の高まった熱心な、そして内容の充実したものであったかと思えます。このテーマがいかに重要な、そして関心の高いものであるかということに改めて実感いたしました。

2日目午前中の一般演題発表は12題あり、各施設において取り組まれたテーマを発表していただきました。ランチョンセミナーでは「肝線維化マーカーとしてのオートタキシンの可能性」として東ソー株式会社バイオサイエンス事業部の丸尾先生、「B型肝炎ウイルス感染症の現状と問題点」として愛媛県立中央病院副院長の道堯先生にご講演いただきました。それぞれ準備・ご協力いただきました栄研化学株式会社、シスメックス株式会社に感謝いたします。

今学会では市民公開講座を2題準備し、1題目は東広島市危機管理課の中川先生に、『災害時における避難の方法 ～普段の心がけ～』ということで、豪雨災害に限らず災害に対する心がけをお話いただきました。ジョークを交え、とても聞きやすく事前の備えがいかに大切であるか痛感いたしました。2

題目は広島大学大学院教授の藤原先生に『豪雨災害に適応するたおやかな社会へ ～交通マネジメントの視点から～』ということで、交通機能不全がもたらす影響についてお話いただきました。最後は急ぎ足となってしまいましたが、豪雨災害が起こってからの渋滞緩和対策、今後の展望などとても興味深い内容でした。

全体を通し、うまくいったところもあれば反省するところもありましたが、今後行われる学会運営に

活かせていければと思っています。最後に今回の開催に当たりまして、会長をはじめ広臨技理事、また、格段のご尽力をいただきました実行委員の皆様、大変な時期に委員を選出して頂きご協力頂きました施設、さらには広臨技全会員、賛助会員の皆様のおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。

実行委員長 小松 忠司

第 36 回広島県医学検査学会レポート



2月23日・24日の二日間、グランラッセ東広島にて第36回広島県医学検査学会が開催された。心配した雪も降ることはなく、日中はあたたかな春のような陽気に恵まれ、多くの参加者でにぎわった。今年のテーマは「災害に強い医療を目指して ～がんばるけん 広島県」。平成30年7月、西日本を中心に降り続いた豪雨はあちこちで土砂災害を引き起こし、広島の各地に大きな被害をもたらした。この豪雨による死者・行方不明者はあわせて114人。メディアで連日報道された各地の悲惨な映像は記憶に新しい。「災害」がテーマということで、シンポジウムや市民公開講座も災害についての話題が採用された。シンポジウムではリハビリテーション・医師・看護師・臨床検査技師が西日本豪雨災害の際に行ったボランティア活動について討論した。災害における避難所生活では、食料や日用品などの物資の不足はもちろんのこと、設備の不十分な施設での集団生活による感染症のリスク、ストレスの蓄積など、様々な問題が起こる。講演を行った各団体は、それぞれ

の強みを生かしてこれらの問題解決にあたったことを報告した。また、市民公開講座では東広島市より、このたびの豪雨災害について被害の詳細や今後同じような災害が起きたときの避難の方法や日ごろから準備しておくことなどについて、さらに広島大学の藤原章正教授より、交通や渋滞という観点から災害時に情報を共有することの大切さや自分ひとりのメリットよりも社会全体のメリットを考えたほうが、まわりまわって自分が安全・快適にすごすことができるようになる、というお話をしていただいた。一般市民の参加者に話を聞いてみると、「自分の身近でこんなに大きな災害が起こるとは思っていなかった。今回のような講演は災害への備えをしなければならぬという危機感を与えてくれた。」と非常に好評であった。



2日目の一般演題には県内の施設や大学から12題の演題が集まり、演者たちは少し緊張した面持ちで発表に臨んでいた。他施設の貴重な症例や自施設とは異なった検査の方法などに興味を持った多くの

参加者から質問が飛び交い、非常に活気のある演題発表となった。

わたしはこの学会に企画の段階から参加したが、多くの人々に支えられて学会が成立していることを知ることができ、良い経験になったと思う。来年度の

第37回広島県医学検査学会は広島市内で3月に行われる予定だ。みなさんも足を運んではいかがだろうか？

広報部 糸谷

第36回広島県医学検査学会優秀演題賞をいただいて



この度は、「当院での医療安全における臨床検査技師の役割 ～急変時対応シミュレーション～」におきまして、優秀演題賞という名誉ある賞をいただき、驚きと同時に大変光栄に思っております。学会では実行委員（裏方）を務めさせていただき、ようやく学会も終盤になり、一安心していた所に名前を呼ばれ、2日間の疲れも吹っ飛びました。

当院での取り組みが評価されたことを大変嬉しく思います。

今回、当院における臨床検査技師の医療安全への関わりと、一つのインシデント事例から臨床検査技師が中心となり、多職種で検討・対策・改善を行った事例について発表させていただきました。

当検査科では検査室外での業務も増えてきた為、他部署と関わるインシデント事例が年々増加しています。検査科内だけでは解決できない事例が発生した時には、専用の分析シートを使用し関連部署と共同で対応を検討しています。

今回の事例は検診フロアで発生した医師や看護師、検査技師、事務職員など多職種が関連した、ドック受診者の急変事例でした。その対応策として、臨床検査技師が中心となり「マニュアル改訂」「バイタル測定機器導入」「急変時対応と職種間での連携方法の

習得」等を検討・実行しました。特に事例発生時の対応能力を向上させる為、リスクコントロール委員協力のもと、疑似体験によるシミュレーション形式の研修を実施しました。研修中は皆さん真剣に取り組まれ（演技もスゴイ！）、研修会後のアンケートでは多くの方が業務上役に立つ研修であったと答えていただきました。



事例対策後に患者が意識を失い倒れる事例があり、シミュレーション研修を受けた職員は落ち着いてマニュアル通り対処し、他部署との連携もスムーズに行えました。今回の研修は大変意味があったと実感できた瞬間でした。しかしまだ対応に自信がない職員もいた為、今後も継続した研修が必要と思われます。

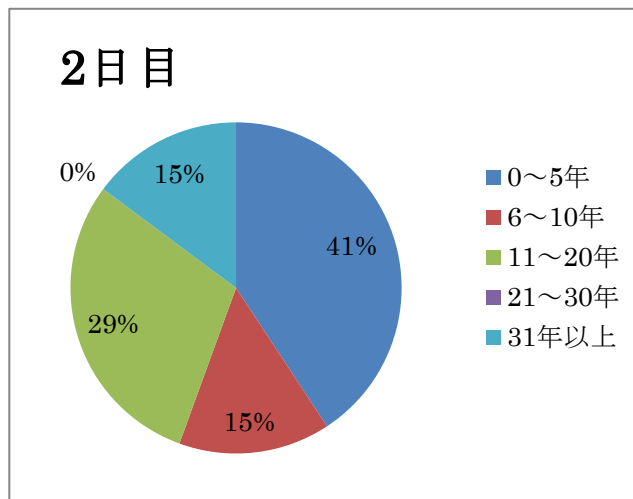
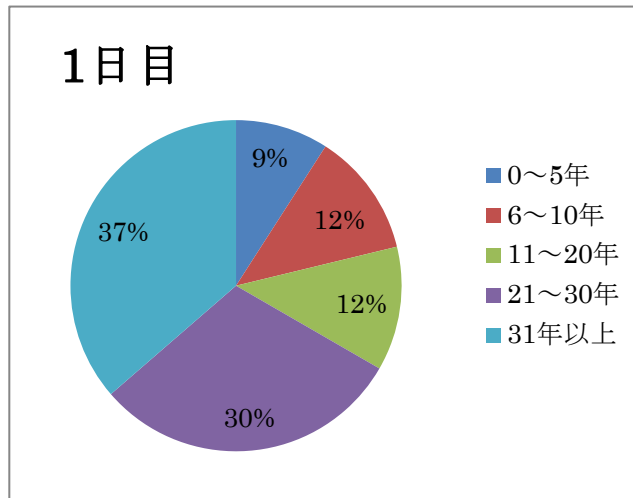
これからもリスクコントロール委員の一員として検査科だけではなく多職種と連携し問題に取り組む事で、病院全体における安心・安全な医療に繋がると考えています。

最後に、審査していただいた先生方、学会実行委員の皆様にご感謝申し上げます。

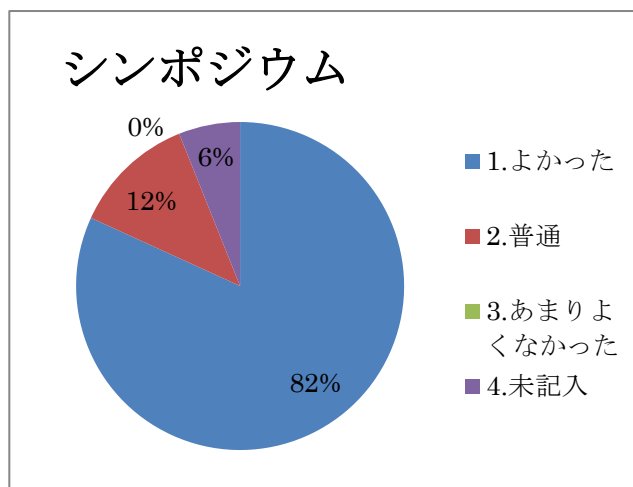
社会医療法人千秋会 井野口病院 臨床検査科
江村

第36回広島県医学検査学会 アンケート調査

● 検査技師の経験年数

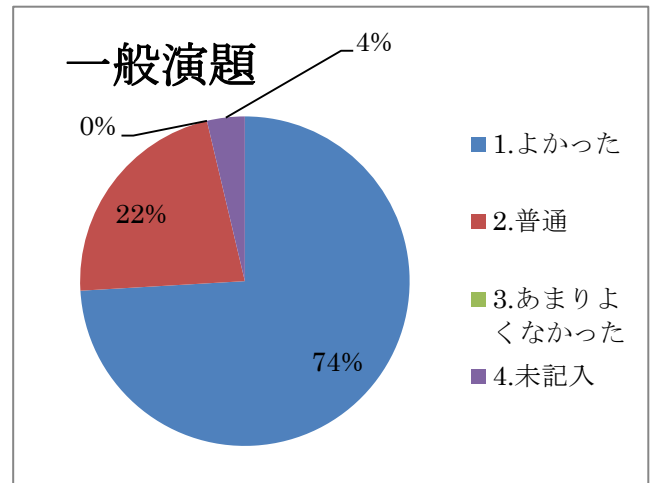


● シンポジウム



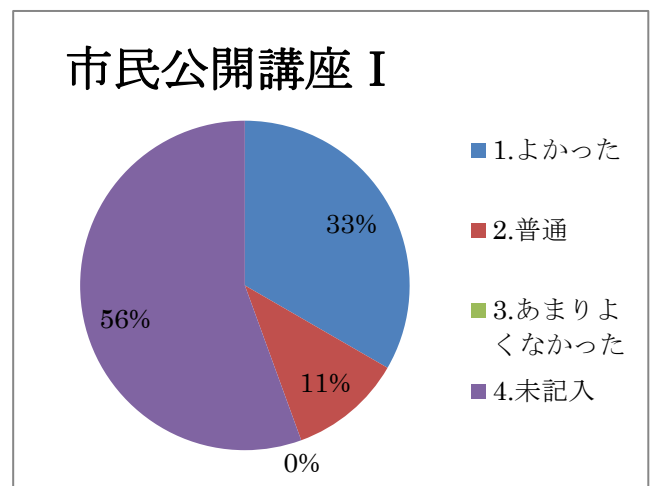
実際に活動していた方々の話が聞けて良かった。
 他業種の話が聞けたことが良かった。
 タイムリーな内容でとても興味深かった。
 同じ県内でも実感がなく知れてよかった。Dr. やNs.
 と比べるといざという時何もできない印象を受けた。

● 一般演題



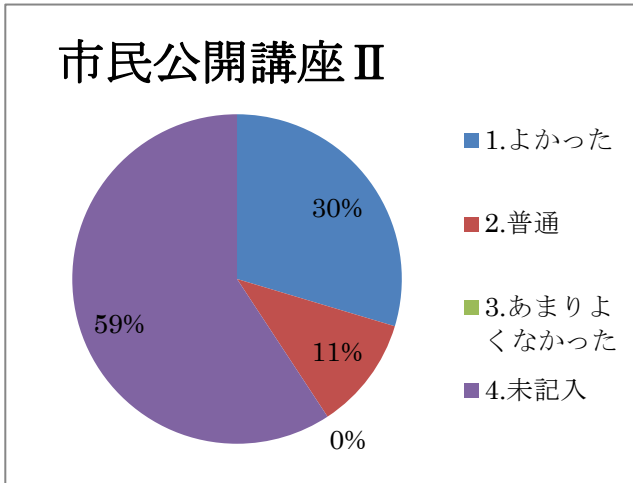
皆よく練習して発表に臨まれているのがわかった。
 質疑応答があまり活発でなかった。

● 市民公開講座 I



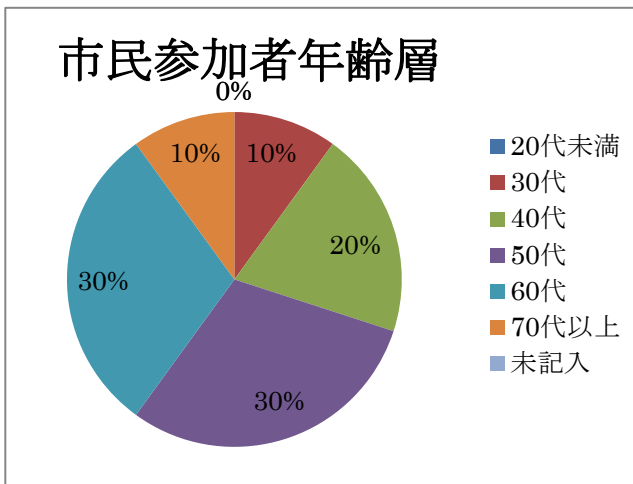
笑いをまじえて楽しかった。災害の写真では真実に目を向けることができた。

● 市民公開講座Ⅱ



面白かったが文字が小さくよく見えなかった。

● 市民参加者 年齢層



● その他

会場の一番後ろに椅子に多く座っており、テーブルの空席が目立った。満席時のみ出すべき。
 技師として、災害時に何ができるのか知っておくこと、考えておくことが大切と感じた。
 部屋が暑かった。室温が高く、乾燥していたためのがカラカラになった。
 検査以外の話が大変興味深い。
 若い技師の参加が多く、良い刺激になった。
 広臨技 HP で本学会の案内を見つける事が出来なかった（県学会のバナーでは昨年度の学会が参照されていた）。
 西条駅からの無料案内バスの情報を得る事が出来なかった（2名）。

参加会員数

<1日目>

100名（アンケート回答33名：回収率33%）

<2日目>

110名（アンケート回答27名：回収率25%）



2019 年度 広島・西部地区レクリエーションのご案内

この度、広島・西部地区レクリエーションを下記の通り、開催いたします。

「水金地火木土テンカ〜フ」

パーティーベランダでカーブを応援しよう！！広島・西部地区の皆さま 多数ご参加ください。

地元カーブの応援をするとともに、会員相互の親睦と意見交換を目的に、広島・西部地区レクリエーションを開催いたします。今年度もなんとか“パーティーベランダ”をゲットできました。

今年こそ！日本一を目指すカーブを応援するとともに、“広臨技**家族**”で盛り上がりましょう。奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

<募集要項>

日 時：平成 31 年 4 月 24 日(水)

集合場所：広島 PARCO パーティーベランダ 17 時 50 分 (18 時ごろより食事を開始)

会場情報：<http://www.carp.co.jp/ticket/zaseki/partyveranda.shtml>

観戦試合：平成 31 年 4 月 24 日(水) 対 中日ドラゴンズ 18 時 00 分 (試合開始)

開催場所：MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島 広島市南区南蟹屋 2 丁目 3 番 1 号

募集人数：140 名 (広島・西部地区会員、賛助会員、広島・西部地区会員の家族)

参加費：会費 8,000 円 (観戦料+ライブキッチンビュッフェプラン 4,500 円付)

*広島・西部地区会員は福利厚生助成金 1,000 円あり

申込期間：平成 31 年 4 月 1 日 (月) ~ 4 月 5 日 (金) “**フライングなど期間外の申込は無効です**”

申込み先：申込書に記入のうえ広臨技事務所へ FAX をお願いします。受領後、申込確認 FAX を返信します。

【重要】4 月 8 日(月)15 時までに返信がない場合、翌 9 日(火)15 時までに下記へお問い合わせください。

問合せ先：小松 浩基 (コマツ ヒロキ) JA 広島総合病院 臨床研究検査科

メール：dtkomatu1967@gmail.com 電話：0829-36-3111 (内線 4301)

<注意事項>

1. 3 月 31 日までに平成 31 年度技師会会費納入済の方が参加対象となります。
2. 申込みは、申込み期間中に 140 名に達した時点で終了とします。
3. **申込み期間終了後のキャンセルは、受け付けできません。**
4. 参加費は、事前支払といたします。可能な限り施設内で取りまとめてください。
5. 当日欠席しても、参加費の支払いは生じますのでご了承ください。
6. チケットは、試合の 4~5 日前までに、施設へ送付いたします。



広島・西部地区レクリエーション参加申し込み書
平成 31 年 4 月 24 日 (水) カープ VS ドラゴンズ

施設名 _____

部署名 _____

連絡代表者 _____ 緊急連絡先(試合当日に必ず連絡の取れる番号)

氏名 _____ 携帯番号など _____

TEL _____ 領収書 要 不要 _____

FAX _____

連絡代表者 _____

アドレス(必須) _____ @ _____

チケット送付先 _____

	ご氏名	会員番号	賛助/家族
1			
2			
3			
4			
5			
6			

申込期間：平成 31 年 4 月 1 日 (月) ~ 4 月 5 日 (金) “フライングなど期間外の申込は無効です”

連絡代表者も申込書に記入してください。会員番号の記入がない場合、福利厚生助成は受けられません。ご家族は家族と記入してください(3歳から1名とカウントされます)。

参加費は施設でまとめて下記担当者へお支払ください。事前の支払が困難な方は当日会場にて受け取りますが事前に下記担当者へ連絡して下さい。賛助会員の方は、可能な限り事前に下記担当者へお支払ください。

【注意】申込み期間中に 140 名に達した時点で終了です。

送付先：広臨技事務所 FAX 082-502-6031

担当者	広島地区理事	中電病院	吉井 恵子	377689@pnet.energia.co.jp
	広島地区理事	県立広島病院	栗村 尚史	kensa01@hph.pref.hiroshima.jp
	西部地区理事	JA 広島総合病院	小松 浩基	dtkomatu1967@gmail.com

「ピンクリボンdeカープ」ボランティア募集 対 横浜 DeNA ベイスターズ戦（デーゲーム）

毎年恒例となった「ピンクリボンdeカープ」乳がん予防啓発キャンペーンを今年も開催します。

広島県民にがん予防に関する正しい知識の普及と早期発見・早期治療の重要性を PR することにより、臨床検査技師の存在をアピールしたいと考えています。

そこで、キャンペーンのお手伝いをして頂けるボランティアを募集します。お手伝いをして頂ける方は必要事項を記入の上、FAX にてお申し込み下さい。

記

- ◆ 日時：平成 31 年 5 月 12 日（日）8 時 45 分集合（※詳細については後日連絡します）
- ◆ 場所：マツダスタジアム広島 正面ゲート付近 ピンクテント
- ◆ 内容：会場づくり、骨密度測定、検査説明など
- ◆ 募集人員：6 名程度
- ◆ 締め切り：平成 31 年 4 月 26 日（金）（定員になり次第募集を締め切ります）
- ◆ 申し込み先：吉島病院 大塚崇通 FAX(082)249-2536
- ◆ その他：協力謝礼金 3,000 円、弁当支給（※初めて参加される方にはピンクリボン T シャツ支給）

尚、詳しいことが知りたい方は吉島病院 大塚 Tel(082) 241-2167 までお問い合わせ下さい。

イベントの詳細は「ブレストケアピンクリボンキャンペーン in 広島」へ。

<http://breastcare-h.com/>

以上



施設名：_____

電話番号：_____

会員番号	氏名	メールアドレス	T シャツ
			M ・ L
			M ・ L

※ピンクリボン T シャツを持って
いない方のみ選んでください！

2019年度（一社）広島県臨床検査技師会 生涯教育講座のご案内

早春の候、皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

生涯教育講座は多方面にわたる内容となっており、各分野における専門の先生に講師をお願いし、わかりやすく解説していただきます。広島地区・東部地区で同じ内容の講座を計4回行います。

修了証書の取得を目指す方はぜひご参加ください。（日臨技の各種認定試験の受験資格には修了証書が必要です。）

1. 生涯教育講座予定（基礎：20点）

テーマ

- | | | |
|-----|------------------------|-----------------------------|
| 第1回 | 「大人の発達障害について（仮）」 | 広島県発達障害者支援センター |
| 第2回 | 「災害の備えについて」 | 広島県危機管理監 減災対策推進担当 |
| 第3回 | 「性同一性障害について（仮）」 | 尾道市立市民病院 泌尿器科 杉本盛人先生 |
| 第4回 | 「自己の成長と組織のチーム力を高めるために」 | (株)サンフレッチェ広島 アカデミー部長 山出久男先生 |

2. 日程：

	広島地区（定員 190名）	東部地区
第1回	6月10日（月）	6月27日（木）
第2回	9月5日（木）	9月26日（木）
第3回	11月14日（木）	11月28日（木）
第4回	1月14日（火）	1月23日（木）

3. 場所： 広島地区（1～4回） 広島市立広島市民病院 10階講堂
東部地区（1・2回） 福山市医師会館 4階演習室
東部地区（3・4回） 尾道市立市民病院

4. 時間： 広島地区 18：30～19：30
東部地区 18：45～19：45

※講師により講演時間が短くなる場合や延長する場合がありますのでご了承ください。

5. 受講料：2,000円（第1回目に集金します。）

※申し込みされた方には、必ず受講料をお支払いいただきます。

6. 受講方法：会員証、受講票（初回に受講料お支払と引き換えにお渡しします）を持参して下さい。

7. 申し込み方法：① E-mailでの申し込み（事務処理軽減にご協力下さい）

受講地区・施設名・電話番号・会員番号・氏名を入力し、件名に「生涯教育講座申し込み」としてお申し込み下さい。

- ② FAXまたは郵送での申し込み

下記の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX又は郵送でお申し込み下さい。
注)出来るだけ施設ごとに取りまとめて申し込みをお願いします。

なお、電話による申し込みは受け付けません。

8. 申し込み締切：平成31年5月31日（金）

※広島地区は申込受付先着順といたします。

9. 申し込み先：(E-mail) syougai@hiroringi.or.jp (生涯教育委員会専用アドレス)
 (FAX) 082-502-6031 (広島県臨床検査技師会事務所FAX)
 (郵送) 〒730-0013 広島市中区八丁堀 6-10 グレイスビル 801号
 一般社団法人広島県臨床検査技師会 宛

10. お問い合わせ先：(E-mail) syougai@hiroringi.or.jp (生涯教育委員会専用アドレス)

.....
 FAX送信先 (082) -502-6031
 一般社団法人 広島県臨床検査技師会 宛

生涯教育講座受講申込書

受講地区： 広島地区 ・ 東部地区 (どちらかに○印)

施設名・所属：

T E L : () -

会員番号	氏名	会員番号	氏名

平成30年度 広臨技発行紙への広告・協賛のお礼

広臨技 会長 森田益子

広島県臨床検査技師会が発行する冊子(会報、広島臨床検査、広島県医学検査学会抄録集)の発刊にあたり、以下の賛助会員におかれましては格別のご協力・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今後も広島県臨床検査技師会の運営におきましてご理解の上ご支援いただきますようお願い申し上げます。

平成30年度(2018年度)広報関係発行紙の広告掲載賛助会員一覧(順不同・敬称略)

会社名	会誌(学術誌)	会報	会報(抄録集)
富士レビオ株式会社	○	○	○
アボットジャパン株式会社	○	○	○
アークレイマーケティング株式会社	○	○	○
極東製薬工業株式会社	○	○	○
株式会社ビー・エム・エル	○	○	
シスメックス株式会社	○	○	
協和メデックス株式会社		○	○
株式会社エイアンドティー		○	○
キャノンメディカルシステムズ株式会社		○	
山陽女子短期大学	○		
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社			○
株式会社福山臨床検査センター			○
ニッポーボーメディカル株式会社			○
富士フイルム和光純薬株式会社			○
栄研化学株式会社			○